

## 2. 社会支出と国際比較

### (1) 政策分野別社会支出

2014年度の社会支出を政策分野別にみると、「高齢」が最も多く（47.0%）、次いで「保健」（33.8%）、「遺族」（5.7%）、「家族」（5.6%）、「障害、業務災害、傷病」（4.4%）、「他の政策分野」（1.5%）、「失業」（0.8%）、「積極的労働市場政策」（0.7%）、「住宅」（0.5%）の順となっている。

表4 政策分野別社会支出

社会支出	2013年度	2014年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
合計	1,154,337 (100.0)	1,168,532 (100.0)	14,196	1.2
高齢	546,187 (47.3)	548,747 (47.0)	2,560	0.5
遺族	67,544 (5.9)	66,788 (5.7)	△ 756	△ 1.1
障害、業務災害、傷病	50,249 (4.4)	51,164 (4.4)	915	1.8
保健	387,767 (33.6)	395,385 (33.8)	7,618	2.0
家族	62,187 (5.4)	65,695 (5.6)	3,508	5.6
積極的労働市場政策	8,871 (0.8)	8,227 (0.7)	△ 643	△ 7.3
失業	10,734 (0.9)	9,591 (0.8)	△ 1,143	△ 10.7
住宅	5,876 (0.5)	5,929 (0.5)	53	0.9
他の政策分野	14,921 (1.3)	17,006 (1.5)	2,085	14.0

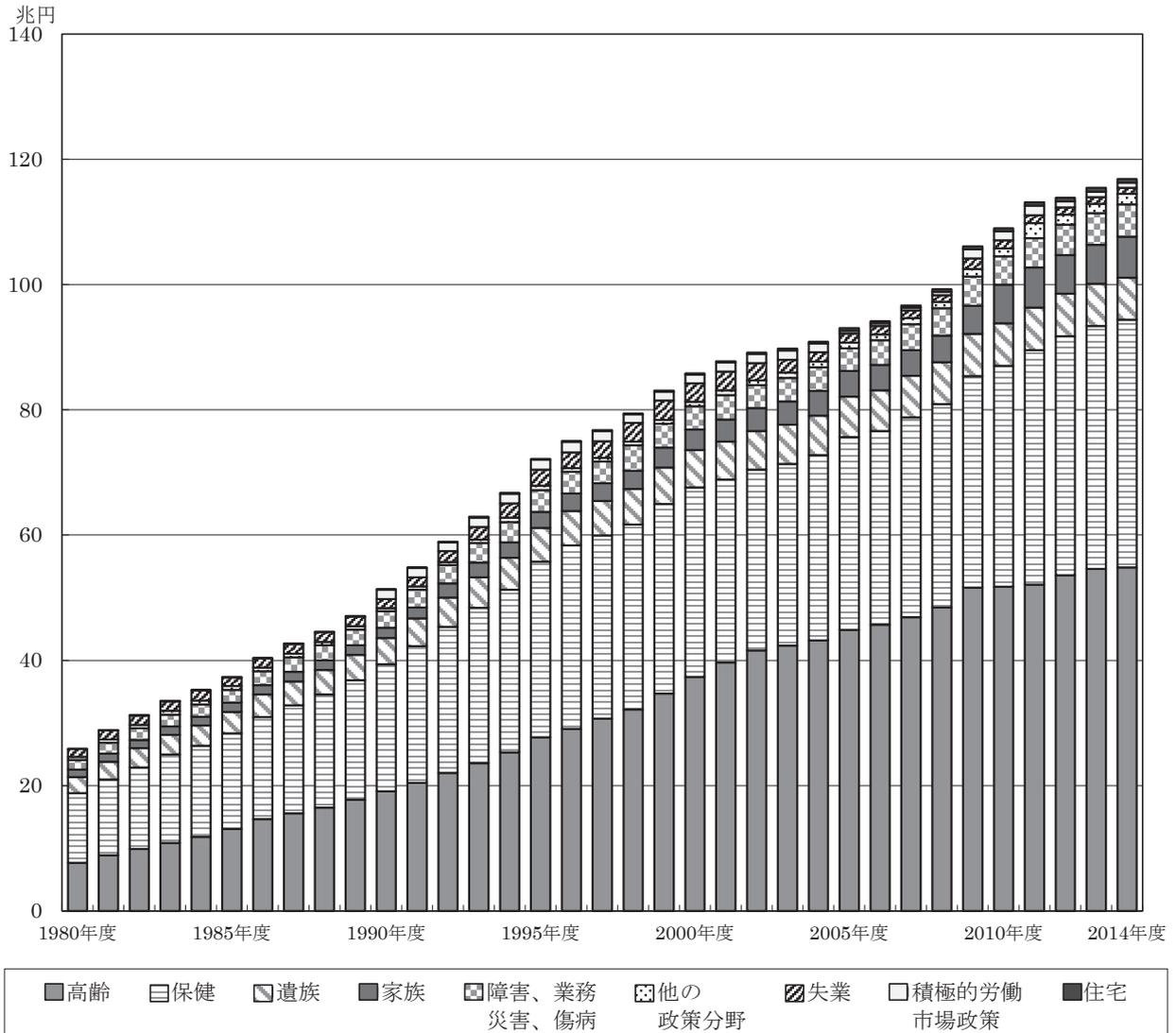
(注)

1. ( ) 内は構成割合である。
2. 政策分野別の項目説明は、56-63頁を参照。

表5 政策分野別社会支出の対国内総生産比

社会支出	2013年度	2014年度	対前年度増加分
	%	%	%ポイント
合計	23.93	23.87	△ 0.06
高齢	11.32	11.21	△ 0.11
遺族	1.40	1.36	△ 0.04
障害、業務災害、傷病	1.04	1.04	0.00
保健	8.04	8.08	0.04
家族	1.29	1.34	0.05
積極的労働市場政策	0.18	0.17	△ 0.02
失業	0.22	0.20	△ 0.03
住宅	0.12	0.12	△ 0.00
他の政策分野	0.31	0.35	0.04

図1 我が国の政策分野別社会支出の推移



(出所)

31頁「第1表 政策分野別社会支出の推移」より作成。

(2) 社会支出の国際比較

諸外国の社会支出を対国内総生産比で見ると、2013年度時点でアメリカより大きくイギリスをやや上回っているが、スウェーデンやフランス・ドイツなど大陸ヨーロッパ諸国に比べると小さくなっている。

図2 政策分野別社会支出の国際比較（2013年度）

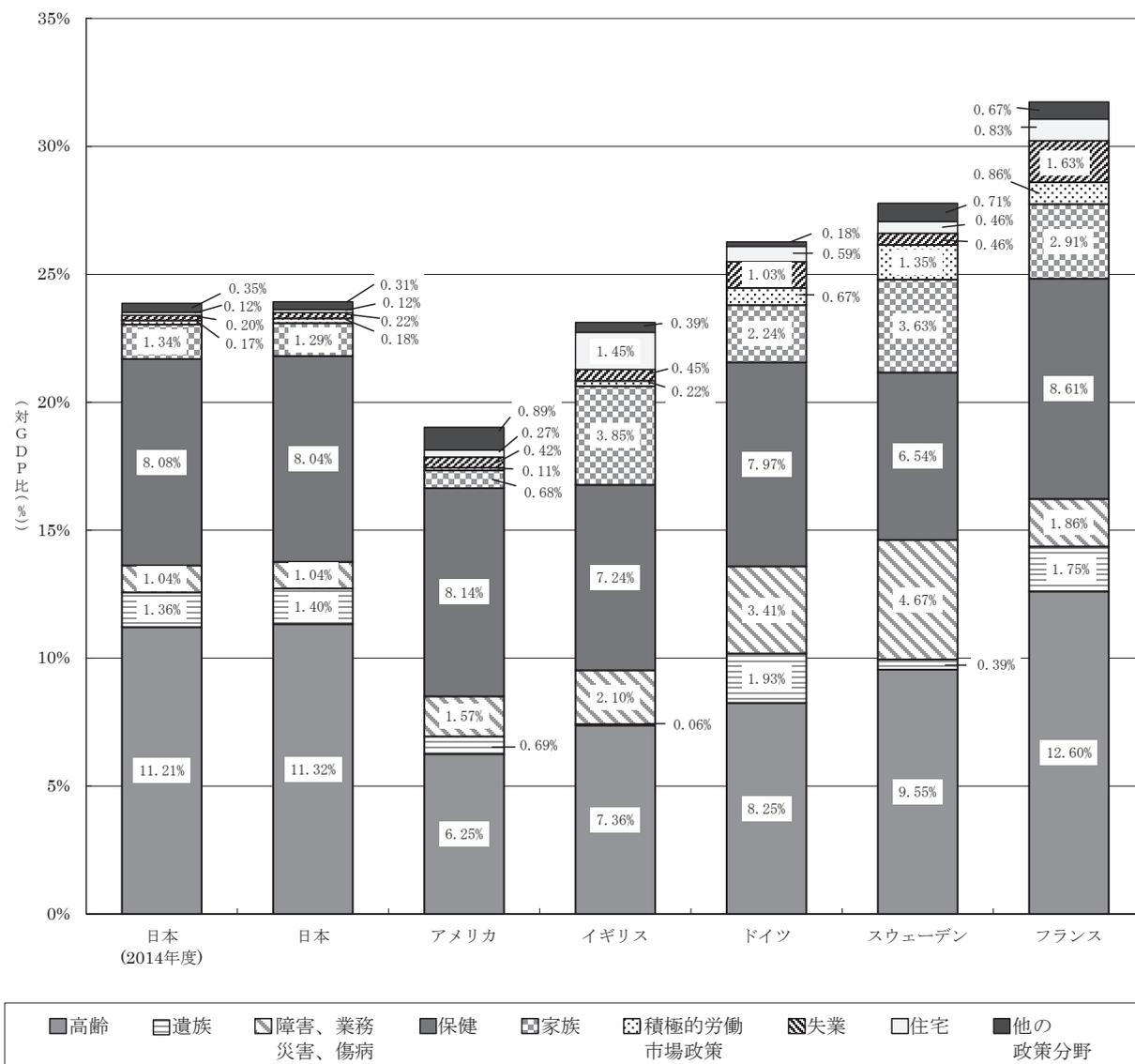


表6 社会支出の国際比較（2013年度）

社会支出	日本 (2014年度)	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	スウェーデン	フランス
社会支出 対国内総生産比	23.87%	23.93%	19.02%	23.12%	26.26%	27.78%	31.73%
(参考) 対国民所得比	32.06%	32.14%	23.66%	31.42%	35.12%	41.68%	45.31%

(資料) 諸外国の社会支出は、OECD Social Expenditure Database による。

(<http://www.oecd.org/els/social/expenditure>)

国内総生産・国民所得については、日本は内閣府「平成28年版国民経済計算年報」、諸外国はOECD National Accounts 2015 による。

図3 政策分野別社会支出の構成割合の国際比較(2013年度)

